

【7/16 武蔵野開催】セミナーのご案内

時間	セミナータイトル	セミナー概要	プレゼンター
13:00～13:15	Spotfireによるデータ可視化と分析力向上のためのテクニックのご紹介	本セミナーではSpotfireの強力なデータ分析機能をご紹介します。 Spotfireは、データ分析のための先進機能を提供しており、「トレンドを予測し先手を打ってリスクを最小限にする」「確信を持って意思決定を行う」といったことも可能になります。基本機能のご紹介と共に最新の分析環境で実現するデータ可視化の事例をご紹介します。	日本ティブソフトウェア シニアパートナーマネージャー Spotfire製品担当 三宅 直矢
13:15～13:30	高分解能衛星および高頻度撮影衛星を使った解析ビジネス	NTT空間情報では、世界最高の高分解能衛星 (DigitalGlobe) と、世界最高の高頻度撮影が可能な小型衛星 (PlanetLabs) を使った新たなビジネスを開始いたします。本セミナーでは、DeepLearningをはじめとする最新技術と、日本はもとより世界中の画像をターゲットにしたビジネスの具体例をご紹介します。	NTT空間情報株式会社 ビジネス開発部 サテライトグループ 日置 和之
13:30～13:45	企業のマーケティング活動を変える新潮流～顧客満足度を最大化する「パーソナライズドビデオ」とは～	企業のマーケティング活動において、その費用対効果の大きさから、新しいビデオ技術、「パーソナライズドビデオ」の活用が広がっている。パーソナライズドビデオとは顧客のパーソナルな情報をビデオに埋め込むことによって視聴者の関心と満足度を高める技術である。本セミナーではパーソナライズドビデオの技術とその活用事例について紹介する。	ビツニーボウズ・ソフトウェア 株式会社 営業技術部長 福田 慎
13:45～14:00	ネットワーク性能監視製品「SevOne」を利用した事例	自社のネットワークの状況や機器の状況を監視/将来予測することは運用管理者にとって、重要なミッションとなっております。世界中には、さまざまなネットワーク性能監視製品はたくさん存在する中で今回情報工房が紹介するネットワーク性能監視製品「SevOne」が様々な業界の企業で選ばれている理由/事例をご紹介します。	株式会社 情報工房 営業部 部長 佐子 博史
14:00～14:15	クラウド/IoT時代のネットワークプラットフォーム「ハイブリッドエンジンアーキテクチャ」とネットワーク仮想化「VXLAN機能」のご紹介	めまぐるしく環境が変化するIoT時代の到来に向け、ネットワーク機器には柔軟性が求められています。本セミナーでは、高速性と柔軟性を両立したアラクサ特有のアーキテクチャと、VXLANを用いた最新の仮想ネットワークについて解説します。	アラクサネットワークス株式会社 小林 春樹
14:15～14:30	仮想化されたデータセンターのアプリケーションとインフラストラクチャの統合モニタリング手法	仮想化された環境化におけるトラフィック監視、パフォーマンス低下の解決、キャパシティプランニングのためのトレンド把握を支援する可視化ツールを紹介いたします。	株式会社東陽テクニカ 野村 恒平
14:30～14:45	PowerNFVでNFVを加速する	電子メールやWebブラウジングなど、ネットワークは今、単に情報を「伝える」手段から、「蓄積してくれる」手段に大きく変化し、ユーザーの情報が巨大化し続ける一方、そのサービスのマネタイズは容易ではありません。そのサービスを支えるサーバの効率的運用を実現するために生まれた技術がVM (Virtual Machine: 仮想マシン) でした。 そして今、テレコムの世界がこの技術を取り込もうとしています。NFV (Network Functions Virtualization) とは、従来高価な専用機で行っていた通信ノードを、IA (Intel® Architecture) サーバのVM上にソフトウェアとして実現することにより、通信インフラへの投資コストを劇的に下げることが目的に生まれたコンセプトです。このNFVの導入をさらに加速させるPowerNFVのご紹介です	アルザネットワークス 相原 雄一
14:45～15:00	2020年を見据えた近未来ネットワークの検証に向けて	2020年のネットワークはどうなっているのか、どうあるべきか。高度化&高速化するテストニーズに別々の測定器で対応するのではなく、なるべく統一されたテストプラットフォームで実現していきます。	株式会社東陽テクニカ 中村 彰宏
15:00～15:15	GleanPacketsを使用したキャプチャデータPCAPの有効活用について	ユーザが、キャプチャ装置やTCPDUMPなどで収集し、大量に所有するPCAPデータを有効活用する方法を提案します。	グリーン株式会社 大辻 尚
15:15～15:30	業界初、ナバテック100G ネットワーク解析ソリューションとその事例のご紹介	Interop Tokyo 2015のBest of Show Awardマネジメント&モニタリング部門でダブル受賞を獲得したNapatech社の100G ネットワーク解析アクセラレータの機能とそのユーザ事例をご紹介します。	ナバテックジャパン 野澤 一雄
15:30～15:45	MVNOサービスのトラブルシューティング、サービス品質監視・分析手法について	MVNOサービスの普及に伴い、MVNO提供事業者には、増大するモバイルデータ通信の監視、トラブルシューティング、QoE傾向分岐に基づく設備増強などが求められている。本セミナーでは、MVNOサービスにおける効果的な加入者分析、エラー分析方法を紹介する。	NetScout Japan 佐藤 勝美
15:45～16:00	FTTA/DAS/スモールセル展開における光ネットワーク物理・伝送・同期試験の効率化について	近年注目を浴びているFTTA/DAS/スモールセルの展開では、サービス品質を守る為、設置・保守・障害対応において、様々な試験項目の迅速な実施が求められ、それに伴う課題も発生します。このセミナーでは、光物理テスト・光伝送 (CPRI/Ethernet/etc)・同期 (PTP/SyncE) テストを1台の測定器で包括的にサポートし、基地局展開作業の効率大幅アップに貢献する、JDSUのオールインワン光テストソリューションをで紹介致します。	JDSU T&M株式会社 寺前 セリオ信幸
16:00～16:15	複雑・肥大化するテスト環境への対峙	複雑・肥大化するテスト環境に対し、仮想化技術を使用して各制約事項を取り扱うことでスムーズなテストを実行させ、品質および開発スピードを向上させるCA Service Virtualizationのご紹介。	CA Technologies 武田 太